

人空羽衣遠

①

森と平原の美しい国ポーランド

ポーランドはヨーロッパのほぼ中央にある共和国です。ドイツ、チェコ、スロバキア、ウクライナ、ベラルーシ、リトアニア、ロシア（カリーニングラード）の7ヶ国と陸続きで接し、北はバルト海に面しています。



これまではドイツ経由などで約15時間かかりましたが、2016年にポーランド航空の直行便が就航し、成田から1時間半で行けるようになりました。面積は約31万km²（本州と北海道を併せたほど）で、国名の「POLSKA」は「平原」という意味です。面積は日本よりやや小さいものの、国土の大半が平坦で、人口も三分の一程度（約380万人）です。実際には、緑の平原の中に白樺の森が点在する美しい国です。



ポーランド点描新聞
日本文化再発見特集

日本と同じように四季があり、春になると緑が一斉に芽吹きます。8月は30度前後まで上がり、湿度が低いのでそれほど暑くは感じません。

黄金の秋

草花が一斉に芽吹く春、緑鮮やかな夏、美しい黄葉の秋、白く雪化粧する冬、それぞれ味わいがあります。特に十月は「黄金の秋」と呼ばれ、抜けの青空を背景にした白樺



の黄葉は息をのむ美しさです。

ポーランド基本情報

- 【面積】 32万2,575km² (日本の85%)
- 【人口】 3,853万人 (日本の約30%)
- 【公用語】 ポーランド語
- 【民族】 ポーランド人 (97%)
- 【宗教】 ローマ・カトリック (88%)
- 【首都】 ワルシャワ 【通貨】 ズロティ
- 【経済成長率】 1.6% (13年)
- 【GDP】 3,887億ユーロ (13年)
- 【一人あたりGDP】 8,600ユーロ (13年)
- 【日本との時差】 マイナス8時間 (夏場はマイナス7時間)
- 【在留邦人数】 1,303人 (14年7月)
- 【進出日系企業】 270社 (13年10月)
- 【邦人訪問者数】 年間約4万3千人 (在ポ日本国大使館発行資料による)

ゆつたりとした時空
首都ワルシャワは樹木の多い緑豊かな町です。この国では自宅の庭木を伐る場合にも近隣の同意や市の許可を必要とするなど、自然との調和をとる大切にしていきます。街のいたるところに広々とした

公園があり、時間がゆつたりと流れています。市街地の中ほどにあるヨーロッパ最大規模のワジェンキ公園では、夏の日曜毎に野外ピアノコンサートが催され、人々はバラ園のベンチに座ったり芝生に寝こんだりして、自由



に音楽を楽しみます。夏場は、公園内の屋外ステージでオーケストラや民族舞踊の公演が行われます。公園内では野生のリスが人を怖れず近寄ってきます。

ワルシャワ

昔、パリの青年とモスクワの青年がそれぞれにモスクワとパリを目指して国際列車に乗りました。二人はそれぞれにワルシャワに到着し、パリから来た青年は「とうとうモスクワまで来てしまった！」と感慨にふ



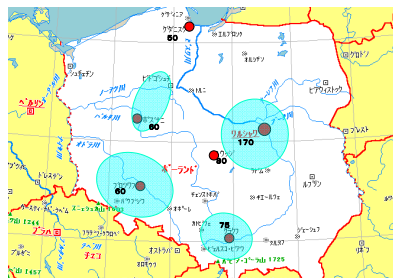
巨大な石造りの建造物で、市内のどこからでもよく見えるので方向を定めるのに便利ですが、市民からは「ワルシャワの墓石」と呼ばれ、評判はあまりよくありません。人々は半ば冗談交じりに、「大嫌いな文化科学宮殿を見なくて済む方法はその展望台にのぼることだ」と言っています。さて、ここで問題です。なぜワルシャワ第一の高層建築である文化科学宮殿が「墓石」などと呼ばれるのでしょうか。答はこの特集の半ばあたりで明らかにするでしょう。

ワルシャワの墓石
現在、市内で最も高い建物は、第二次世界大戦後にソ連のスターリンから贈られた文化科学宮殿です。



日系企業の進出

在留日本人はまだ多くはありませんが、ワルシャワのほか、南部の古都クラコフ、南西部の商業都市ヴロツワフ、西部のポズナニ周辺などが増えています。ポーランドの南西部は経済特区になっており、日系の自動車工場や電子機器工場などが進出しています。



- ★ ★ ★ もくじ ★ ★ ★
- ① 森と平原の美しい国
- ② 心豊かな人々
- ③ 薫り高い文化
- ④ 激動の波蘭
- ⑤ ポーランドの歴史
- ⑥ アウシュヴィッツ
- ⑦ 大戦前夜
- ⑧ 人道的日本人
- ⑨ 不屈の波蘭魂
- ⑩ ワルシャワ歴史地区
- ⑪ 親日大国ポーランド
- ⑫ ワイダ監督を偲ぶ
- ⑬ 親日感情の背景
- ⑭ 情報発信の課題
- ⑮ 福島安正の見た波蘭